

4・5 大気騒音科

昭和60年度におこなった試験検査は、表1のとおりである。

表 1 試験検査実施状況

事業名	行政		依頼		自から		計	
	件数	項目数	件数	項目数	件数	項目数	件数	項目数
大気汚染監視	4,429	101,239					4,429	101,239
煙道排ガス測定	20	139	5	10	52	412	77	561
重油中の硫黄分析	196	196	22	22	1	1	219	219
自動車公害調査	190	1,763					190	1,763
悪臭調査	8	48	18	62	48	267	74	377
放射能調査	916	9,435			55	102	971	9,537
その他	1	51	61	115			62	166
計	5,760	112,871	106	209	155	781	6,021	113,861

4・5・1 大気汚染監視

本年度も、当所に設置されている自動測定局を運用して、SO₂、NO、NO₂、CO、O_x、NMHC、CH₄、SPMおよび気象要素(W_D、W_S、Temp、Hum、Sum)の測定を実施した(表2)。

これらのうち、公害対策基本法により環境基準(表3-1)が定められているSO₂、NO₂、CO、O_xおよびSPMの中で、環境基準を超えたものはO_xのみであった。(表3-2)

また、それぞれの汚染物質の濃度変動についてみると、SO₂、NO、NO₂およびCOの1時間値は、年間を通して、朝夕の車ラッシュ時に高値を示す2峰性の日内変動があり、月平均値は大気安定度の高い冬期に高値を示す傾向があった。O_xについては、3月～5月までの春期に月平均値が高く、成層圏からのO₃の供給が高まるためと思われる、3月～10月までの春～夏期に環境基準を超える日があった。SPMについては、春～夏期に高値を示す傾向があり、HCについては、NMHCは夏および冬期に高値を示す傾向があり、CH₄は年間を通して、大きな変動は認められなかった。

表3-1 大気汚染物質の環境基準

物質	環境基準
SO ₂	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
CO	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間の8時間平均値が20ppm以下であること。
SPM	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。
Ox	1時間値が0.06ppm以下であること。
NO ₂	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、又はそれ以下であること。

表3-2 環境基準を超えた物質と回数

物質名	基準	月						
		4	5	6	7	8	9	10
光化学オキシダント	1時間値 0.06ppm以下	21時間 (5日)	5時間 (2日)	6時間 (3日)	1時間 (1日)	39時間 (6日)	2時間 (2日)	5時間 (1日)
		11	12	1	2	3	計	
		0	0	0	0	5時間 (3日)	84時間 (23日)	

(注) 昼間時間とは、5時から20時までの時間帯(1時間値としては6時から20時)

表 2 大 気 汚

物質名		月						
		4	5	6	7	8	9	
SO ₂ ppb	月平均値	3.6	4.4	3.9	5.2	6.1	4.0	
	日平均値	1.1~7.7	1.0~9.3	1.4~8.7	1.7~11.6	3.7~8.4	2.1~7.2	
	1時間値	1~17	1~51	1~17	1~21	2~24	1~23	
NO ppb	月平均値	1.5	1.3	1.0	1.2	1.5	1.6	
	日平均値	0.6~2.8	0.8~2.0	0.1~2.0	0.1~2.4	0.2~5.2	0.5~4.9	
	1時間値	0~17	0~7	0~6	0~6	0~29	0~17	
NO ₂ ppb	月平均値	5.1	3.8	4.2	4.3	3.5	4.8	
	日平均値	1.9~8.8	1.7~7.3	1.7~7.5	2.3~7.0	2.3~5.5	2.6~10.9	
	1時間値	0~28	1~19	1~16	1~16	1~25	1~21	
NO+NO ₂ ppb	月平均値	6.6	5.1	5.2	5.5	5.0	6.4	
	日平均値	2.5~11.2	2.4~9.1	2.4~8.4	2.9~7.9	2.7~10.7	3.3~15.8	
	1時間値	0~45	1~23	1~21	1~20	1~54	1~34	
CO ppm	月平均値	0.41	0.33	0.34	0.35	0.31	0.36	
	8時間平均値	0.24~0.85	0.10~0.71	0.16~0.60	0.14~0.66	0.11~0.59	0.18~0.85	
	1時間値	0.2~1.4	0.1~1.2	0.1~1.7	0.1~1.2	0.1~1.0	0.1~1.3	
Ox * ppb	最高1時間値の月平均値	60.8	51.5	44.7	36.7	47.3	42.4	
	日平均値	40.6~65.9	23.1~55.4	4.6~55.1	7.2~45.9	2.1~78.7	10.9~45.9	
	1時間値	6~86	6~68	0~75	0~65	0~98	0~57	
NMHC ppmC	月平均値	0.236	0.232	—	0.358	0.332	0.324	
	日平均値	0.143~0.358	0.147~0.331	—	0.262~0.417	0.260~0.428	0.233~0.472	
	1時間値	0.12~0.84	0.10~0.87	—	0.19~0.86	0.20~0.90	0.17~1.25	
CH ₄ ppmC	月平均値	1.768	1.759	—	1.739	1.700	1.734	
	日平均値	1.733~1.795	1.684~1.830	—	1.682~1.836	1.619~1.305	1.684~1.793	
	1時間値	1.70~2.12	1.66~1.96	—	1.62~2.10	1.61~2.05	1.63~1.94	
THC ppmC	月平均値	2.005	1.991	—	2.097	2.032	2.058	
	日平均値	1.895~2.146	1.863~2.104	—	1.988~2.237	1.898~2.212	1.962~2.270	
	1時間値	1.850~2.610	1.800~2.620	—	1.830~2.600	1.830~2.68	1.840~3.030	
SPM μg/m ³	月平均値	27.3	25.7	25.8	29.5	26.3	19.5	
	日平均値	13.0~50.9	11.2~50.0	11.0~52.0	12.4~65.3	7.8~61.9	8.1~58.5	
	1時間値	3~106	5~74	7~105	6~113	3~165	5~88	
WD	最多風向	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	
Ws m/s	月平均値	3.10	3.05	2.32	2.55	3.50	2.35	
	最多風速	2.1~3	2.1~3	1.1~2	1.1~2	2.1~3	1.1~2	
Temp °C	月平均値	—	—	—	—	—	—	
	日平均値	—	—	—	—	—	—	
	1時間値	—	—	—	—	—	—	
Hum %	月平均値	—	—	—	—	81.7	90.0	
	日平均値	—	—	—	—	67.8~95.4	76.4~100	
	1時間値	—	—	—	—	53~100	52~100	
Sun MJ/cm ²	月平均値	0.689	0.698	0.623	0.691	0.860	0.496	
	日平均値	0.073~1.112	0.078~1.173	0.140~1.179	0.161~1.123	0.253~1.077	0.085~0.898	
	1時間値	0.00~3.31	0.00~3.39	0.00~3.49	0.00~3.34	0.00~3.21	0.00~2.95	

* 昼間時間についての値

染 測 定 結 果 (昭和60年度)

10	11	12	1	2	3	年 間
3.7 2.0~7.0 0~2.0	3.7 1.5~8.2 1~21	6.1 2.7~16.7 1~50	6.0 2.0~15.7 1~41	4.8 1.5~13.5 1~30	4.6 1.2~8.2 1~27	4.7 1.0~16.7 0~51
2.5 0.7~9.2 0~37	2.6 0.3~8.0 0~32	4.8 0.7~18.5 0~89	4.0 0.6~12.9 0~79	3.9 0.3~22.0 0~69	2.3 0.3~5.6 0~34	2.4 0.1~22.0 0~89
5.7 1.5~11.0 0~25	6.1 1.5~12.6 0~29	8.2 1.9~18.5 0~35	7.1 1.2~18.5 0~32	7.1 0.6~23.2 0~42	6.2 1.1~13.7 0~33	5.5 0.6~23.2 0~42
8.3 2.2~23.3 0~55	8.6 2.0~20.0 0~57	13.0 2.6~37.0 0~123	11.0 1.8~31.4 0~111	11.1 0.9~45.2 0~105	8.5 2.1~19.3 0~67	7.9 0.9~45.2 0~123
0.40 0.16~1.28 0.1~2.1	0.43 0.19~1.05 0.1~1.9	0.53 0.20~1.75 0.2~3.5	0.53 0.20~2.00 0.0~3.7	0.50 0.21~2.11 0.2~3.3	0.50 0.21~1.08 0.2~2.8	0.42 0.10~2.11 0.0~3.70
46.8 16.3~57.9 0~78	45.7 17.3~45.1 0~60	44.1 10.7~50.3 0~56	45.9 15.8~54.7 1~62	45.7 9.3~51.0 1~55	51.5 17.3~59.5 1~67	46.9 2.1~78.7 0~98
0.298 0.188~0.476 0.13~0.92	0.263 0.167~0.443 0.12~0.80	0.305 0.170~0.590 0.11~1.33	0.310 0.170~0.629 0.10~1.38	0.274 0.131~0.728 0.10~1.33	0.272 0.148~0.385 0.12~0.78	0.291 0.131~0.728 0.10~1.38
1.744 1.675~1.788 1.65~1.88	1.768 1.740~1.799 1.71~1.95	1.759 1.720~1.787 1.68~1.85	1.756 1.724~1.833 1.66~1.86	1.743 1.712~1.788 1.66~1.86	0.1738 1.714~1.775 1.67~1.86	0.1746 1.619~1.836 1.61~2.12
2.042 1.916~2.246 1.860~2.770	2.031 1.935~2.203 1.860~2.600	2.064 1.930~2.360 1.870~3.140	2.066 1.926~2.399 1.870~3.230	2.017 1.874~2.471 1.830~3.120	2.011 1.879~2.126 1.840~2.540	2.038 1.863~2.471 1.800~3.230
21.8 11.0~35.8 6~80	21.1 10.5~42.7 6~104	21.7 10.0~48.0 6~131	21.6 10.4~59.6 8~98	20.6 11.2~57.9 7~115	25.2 11.3~44.5 6~83	24.0 7.8~65.3 3~165
SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SSE	SSE
3.01 2.1~3	3.61 2.1~3	3.45 2.1~3	3.46 2.1~3	3.64 2.1~3	3.05 2.1~3	3.10 2.1~3
17.31 12.61~23.82 9.4~29.5	11.87 5.09~18.14 2.1~20.7	5.83 1.21~13.58 -0.3~16.3	2.11 -1.15~5.20 -2.5~9.6	1.74 -0.61~5.12 -3.5~7.7	6.59 1.06~12.67 -2.0~18.7	7.69 -1.15~23.82 -3.5~29.5
83.7 65.3~98.2 45~100	80.2 70.3~96.7 46~100	82.8 70.7~97.0 52~100	83.7 64.5~96.0 42~100	84.2 68.4~99.5 46~100	81.6 55.8~100 34~100	83.5 55.8~100 34~100
0.431 0.09~0.783 0.00~2.73	0.280 0.023~0.585 0.00~0.23	0.205 0.026~0.449 0.00~1.81	0.214 0.055~0.485 0.00~1.93	0.307 0.062~0.507 0.00~2.49	0.442 0.076~0.861 0.00~3.02	0.499 0.023~1.179 0.00~3.49

4・5・2 煙道排ガス測定

行政検査、委託および自主測定による事業場等におけるばい煙測定結果の概要は、表4に示すとおりであり、いずれも基準以下であった。

表4 煙道排ガス測定結果

施設	項目	n	ばいじん	SO _x	NO _x	HCl	O ₂	温度	平均	水分量	On
			g/m ³ N (g/m ³ N)※1	K値※2 (ppm)※3	cm ³ /m ³ N (ppm)※3	mg/m ³ N (ppm)※3	%	℃	流速 m/s	%	
ボ イ ラ ー	A重油	n	9	8	10	-	4.8	105	1.2	4.9	4
		R	0.00~0.04 (0.00~0.05)	0.2~1.8 (140~340)	50~180 (37~77)	-	~14.0	~520	~9.7	~10.7	
	B重油	n	6	4	6	-	5.1	157	2.2	7.8	4
		R	0.00~0.24 (0.00~0.30)	1.4~5.0 (470~670)	80~130 (65~110)	-	~7.6	~254	~13.8	~11.0	
	C重油	n	3	2	3	-	4.4	112	1.8	6.4	4
		R	0.03~0.14 (0.05~0.14)	1.2, 7.6 (890, 960)	110~130 (91~110)	-	~10.5	~260	~13.1	~11.5	
都 市 ご み 焼 却 炉	バッチ式	n	5	1	2	2	10.2	110	2.2	5.7	12
		R	0.05~0.28 (0.04~0.86)	0.1 (36)	100, 110 (36, 66)	0, 140 (Tr, 85)	~18.4	~290	~6.1	~39.1	
連 続 式	n	2	-	-	-	12.4	285	19.0	33.3	12	
	R	0.12, 0.16 (0.14, 0.16)	-	-	-	~13.2	~305	~20.1	~36.2		
産 業 廃 棄 物 炉	連 続 式	n	3	2	3	2	10.0	32	3.2	3.3	12
		R	0.02~0.24 (0.02~0.26)	0.0, 4.1 (Tr, 320)	50~80 (47~97)	0 (Tr)	~12.6	~80	~10.6	~38.7	

(注) n:測定数 R:範囲

※1:On換算値

※2:鳥取県のK値は17.5

※3:実測値

4・5・3 重油中の硫黄分測定

保健所が収去する行政検査、委託及び自主検査による重油中の硫黄分は、放射線式(透過法)により測定した。その結果は、表5に示すとおりである。これ以外に、収去されたものの中に魚油及び重油の混合油が8検体あったが、前記方法では分析不能のため除外した。

表5 重油中の硫黄分測定結果

種類	検体数	硫黄分 W t %	
		範囲	平均
A	124	0.33~1.03	0.64
A + B	1	0.92	
B	35	0.97~1.95	1.48
C	51	1.28~2.30	1.92
合計	211		

材料不適：魚油及び魚油+重油が8検体

4・5・4 鳥取市における一酸化炭素濃度

自動車排ガス測定のため、昨年度に引き続き、2定点で自動測定を実施した。いずれも表6に示すとおりで、環境基準以下であったが、日平均値の年間平均において、日交旅行センター地点では前年(3.7ppm)より若干上回る3.9ppmであり、東部自動車学校地点でも前年(2.1ppm)を上回る2.6ppmであった。

表6 鳥取市内の一酸化炭素濃度 (1時間値ppm)

地点	項目	月												年間
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
日交旅行センター	範囲	1.8 7.3	0.8 5.8	0.6 4.6	1.1 8.0	0.1 7.5	0.1 5.5	0.4 8.8	0.9 12.3	0.3 10.9	0.4 8.8	0.4 19.3	0.6 11.5	3.1 19.3
	日平均値	3.9	3.0	2.0	3.1	3.3	1.9	3.0	5.7	4.5	3.9	8.6	4.8	3.9
	8時間平均値の最高値	5.1	4.5	2.6	3.7	5.1	2.9	5.3	8.0	6.2	5.4	11.7	8.0	11.7
東部自動車学校	範囲	0.2 4.9	1.6 3.0	0.6 4.6	0.5 7.0	1.4 12.6	0.7 9.8	0.7 4.1	0.0 4.3	0.4 3.5	0.4 3.6	0.6 2.8	0.0 5.9	0.0 7.0
	日平均値	1.2	2.4	2.5	3.4	6.4	4.5	2.2	1.3	1.6	1.6	1.3	2.7	2.6
	8時間平均値の最高値	1.5	2.8	3.8	5.7	10.9	8.4	3.4	2.0	2.2	2.6	1.7	4.0	10.9

4・5・5 四市における自動車公害実態調査

鳥取市及び米子市各6ヶ所、倉吉市及び境港市各3ヶ所の主要道路沿線で、自動車公害の実態調査を実施した。

A 測定方法および使用機器

一酸化炭素濃度は24時間連続、その他の項目は8、10、12、14および16時の5回、次の機器と方法により測定した。

自動車通過台数：測定時を中心として、10分間の通過台数

騒音：NA-07、NA-20(リオン)およびLR-01D、LR-04(リオン)を使用して、JIS Z 8731によった。

振動：VM-12A、VM-12B(リオン)とLR-03を使用して、振動規制施行規則の定めるところによった。

浮遊粉じん：P-3、P-5HZ(柴田)を使用して測定した。

一酸化炭素：エコライザー2600(ダイレック)、デジタルプリンターDP-41(日本電子科学)および記録計EPR-1000A(東亜電波)を使用した。

B 調査結果

調査結果の概要を表7および表8に示す。

騒音：全測点で自動車騒音の限度以下であったが、環境基準に適合したのは、昨年と同様、鳥取市の県庁前と大村薬局前および米子市の駅前の3地点のみであった。

振動：全測点とも道路交通振動の限度値を10dB以上下回る値であった。

一酸化炭素濃度：各市とも1時間値の1日平均値および8時間平均値の最高値は、環境基準値のそれぞれ7～27%、6～19%であり問題となる値でなかった。なお、昭和59年度所報第25号で記載のデータは一部60年度分であったので訂正して表9に59年度分を示した。

表7 4市における自動車公害調査結果(1)
一酸化炭素濃度

(単位：ppm)

市名	測定地点名 (測定月日)	所在地	1時間値の 最高値	1時間値の 1E平均値	1時間値の8時間 平均値の最高値
鳥取	日交旅行センター前 (6月13日)	末広温泉町	4.6	2.0	2.6
倉吉	打吹駅前 (3月6日)	明治町	4.3	2.7	3.1
米子	中国電力前 (6月5日)	加茂町	2.4	1.2	1.5
境港	鳥銀境港支店前 (6月7日)	上道町	1.7	0.7	1.2

表8 4市における自動車公害調査結果(2)

市名	測定場所	測定年月日	自動車通過台数 (10分間) ()は大型車		騒音レベル 中央値 dB (A)		振動レベル 80%上端値 dB		浮遊粉じん量 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	
			最低~最高	平均	最低~最高	平均	最高~最低	平均	最高~最低	平均
鳥取	鳥取駅前	60	138~273 (14) (15)	170 (14)	65~67	66	43~47	45	ND~0.03	Tr
	日交旅行センター前		142~245 (11) (24)	195 (17)	70~74	72	45~53	47	ND~0.04	0.018
	大村薬局前	6	91~151 (0) (3)	130 (2)	61~67	65	42~46	44	ND~0.01	Tr
	鳥取警察署付近 (山陰シャープ前)		203~237 (13) (17)	220 (17)	67~69	68	38~41	40	-	-
	県庁前	11	93~135 (12) (14)	113 (18)	63~66	65	43~49	47	-	-
	面谷外科前		100~177 (9) (11)	136 (12)	64~69	66	38~44	41	-	-
倉吉	打吹駅前	60	85~122 (4) (7)	101 (8)	65~67	66	35~41	38	ND~0.02	Tr
	倉吉駅前通り	6	169~232 (9) (16)	200 (14)	61~71	67	49~53	51	ND~0.02	Tr
	宮川町ロータリー	6	148~205 (9) (8)	183 (10)	63~68	67	46~51	49	ND~0.02	Tr
米子	米子駅前	60	93~140 (18) (24)	120 (19)	61~65	63	44~50	48	ND~0.03	Tr
	中国電力前		217~263 (28) (34)	240 (36)	67~69	68	47~50	49	ND~0.01	Tr
	明治生命前	6	251~380 (29) (45)	330 (35)	67~70	69	47~49	48	ND~0.01	Tr
	鳥銀米子支店前		306~457 (24) (38)	367 (30)	69~74	72	48~50	49	ND~0.02	Tr
	消防署付近(理髪店 ダウンタウン前)	5	173~295 (15) (24)	255 (19)	67~69	68	45~49	47	ND~0.02	Tr
	隠樹建築事務所前		307~450 (37) (15)	343 (30)	69~73	71	42~46	44	ND~0.02	Tr
境港	鳥銀境港支店前	60	88~145 (14) (21)	118 (15)	62~69	65	46~48	47	0.02~0.03	0.024
	境港公民館前	6	86~117 (7) (16)	107 (12)	62~65	63	41~49	45	0.02~0.04	0.026
	山陰合銀境港支店前	7	60~81 (4) (3)	67 (4)	53~62	57	33~37	35	0.01~0.04	0.020

(注) ND:測定値が $0.01 \text{ mg}/\text{m}^3$ 未満、Tr:平均値が $0.01 \text{ mg}/\text{m}^3$ 未満

表9 4市における自動車公害調査結果(3)

一酸化炭素濃度

(単位:ppm)

市名	測定地点名 (測定月日)	所在地	1時間値の 最高値	1時間値の 1日平均値	1時間値の8時間 平均値の最高値
鳥取	日交旅行センター前 (6月12日)	末広温泉町	5.9	2.7	3.8
倉吉	旧打吹駅前 (6月14日)	明治町	2.6	1.3	1.9
米子	中国電力前 (6月8日)	加茂町	2.9	1.4	1.6
境港	鳥銀境港支店前 (6月12日)	上道町	1.9	1.0	1.7

(注) 昭和59年度分

4・5・6 悪臭調査

行政検査、県下1市3町からの委託及び自主測定の75件（延項目数377）について、規制悪臭物質濃度及び今年度から臭気濃度（サイクロオルファクターによる三点比較法）の測定を実施した。

調査結果の概要は表10に示すとおりである。

そのうち、魚粉製造所（A規制地域）1施設でトリメチルアミンが、し尿処理場（A規制地域）2施設で硫化水素とメチルメルカプタンが基準値を超えた。その他鶏舎（未規制地域）1施設で、トリメチルアミンが臭気強度2.5を超えていた。

また、臭気濃度については、敷地境界で21回測定したうち、鶏舎で97、牛舎で60、魚肉缶詰工場で29、し尿処理場で49、66、110、260の臭気濃度を認めた。

敷地内では、13回の測定を実施したが、発生源からの距離、風向、風速等により、同一施設でもその濃度にかんがりの変動があった。

表10 発生源別悪臭物質濃度及び臭気濃度（敷地境界）

単位：ppm（STP）

発生源	項目	アンモニア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二酸化メチル	トリメチルアミン	アセトアルデヒド	スチレン	二硫化炭素 ※1	臭気濃度 ※2
畜産	鶏舎	n R 4 0.09~1.2	4 ND ~0.0008	4 0.0007 ~0.015	4 ND ~0.0020	4 ND	4 ND ~0.011	-	-	4 0.0001 ~0.0003	4 10以下~97
	豚舎	n R 4 ND~0.09	4 ND	4 ND ~0.0004	4 ND	4 ND	4 ND ~0.0006	-	-	4 0.0002 ~0.0004	1 10以下
	牛舎	n R 2 0.31、0.98	2 ND	2 0.0005、 0.0016	2 ND、 0.0036	2 ND	2 ND、 0.0009	-	-	2 0.0002、 0.0002	2 10以下、60
	混合舎	n R 2 ND、0.13	2 ND	2 ND	2 ND	2 ND	2 0.0026、 0.0051	-	-	2 0.0003、 0.0004	-
	畜舎統計	n R 12 0.34 ND~1.2	12 Tr ND~0.0008	12 0.0018 ND~0.015	12 0.0005 ND~0.0036	12 ND	12 0.0019 ND~0.011	-	-	12 0.0003 0.0001~0.0004	7 10以下~97
し尿処理	n R 7 0.16 ND~0.43	7 0.0013 ND~0.0042	7 0.0096 0.0003~0.22	7 0.0010 ND~0.0029	7 ND	5 Tr ND~0.0006	-	-	7 0.0004 ND~0.0003	5 10以下~260	
ごみ処理	n R 5 0.14 ND~0.29	5 ND	5 Tr ND~0.0003	5 ND	5 ND	3 ND	3 ND	1 ND	5 0.0002 ND~0.0003	2 10以下	
魚肉缶詰	n R 5 0.10 ND~0.22	5 0.0005 ND~0.0022	5 0.0019 ND~0.0090	5 ND	4 ND	3 0.0004 ND~0.0012	2 ND	-	5 0.0002 0.0001~0.0003	3 10以下~29	
魚粉製造	n R 4 0.14 ND~0.35	4 ND	4 Tr ND~0.0004	4 ND	4 ND	4 0.0024 ND~0.0070	-	-	4 0.0004 ND~0.0003	4 10以下	
環 境	n R 2 Tr ND、0.08	2 ND	2 0.0007 0.0005、0.0008	2 ND	2 ND	-	-	-	2 0.0002 0.0001、0.0003	-	

(注) n：測定数、R：範囲、 \bar{x} ：算術平均値、ND：定量限界以下、Tr：平均値が定量限界以下
※1：未規制物質、※2：希釈倍数値、

4・5・7 放射能測定調査

放射能測定調査の項目及び対象別の測定結果の概要は、表11に示すとおりで、異常値は認められなかった。なお、本年度の調査結果の詳細については、「陸水・各種食品及び土壌の放射能測定調査結果報告書(28)」に収録した。

また、放射性核種分析のため、検体を採取、前処理し、日本分析センターへ送付した(表12)。

表11 放射能測定調査項目対象および結果

調査項目及び対象			採取地点	件数	測定値 [※]	備考	
全 放 射 能	雨・陸水	降水	鳥取市松並町	110	ND~37.4 pCi/l	定時観測	
		降下物	〃	12	0.18~1.5 mCi/km ² /月	大型水盤法	
		上水	〃	2	ND	(蛇口水)	
	食 品	日常食	岩美郡福部村	2	0.7、0.8 pCi/g [±]		
		牛乳	米子市	7	0.7~1.2 〃		
		米	鳥取市	2	0.5 〃		
		野菜	岩美郡国府町	2	1.5、1.6 〃		(大根)
		〃	倉吉市北野	2	3.8 〃		(ほうれん草)
	海水魚	(境港市)	2	2.8、3.0 〃	(さば)		
	能	その他	浮遊じん	鳥取市松並町	48	0.12~3.6 pCi/m ³	
土壌			鳥取市岩倉	2	1920、1941 mCi/km ²	(0~5cm)直接法	
〃			〃	2	4335、4460 〃	(5~20cm) 〃	
核種 分析	¹³¹ I	牛乳	米子市	6	ND~7.5 pCi/l ^生	機器分析法	
	¹³⁷ Cs	〃	〃	6	ND~20.1 〃	〃	
空間線量			鳥取市松並町	通年	12.7~29.2 cps	モニタリングポスト法	
			岩美郡国府町	12	8.4~10.1 μR/hr		

※食品の測定値は、Kを含んだ値

表12 送付試料

検体名		採取地点	件数	備考	
降下物 陸水	雨水・ちり	鳥取市松並町	12	蛇口水	
	上水	〃	2		
食 品	日常食	岩美郡福部村	2		
	牛乳	米子市	2		
	米	鳥取市	1		
	野菜	岩美郡国府町	1		大根
	〃	倉吉市北野	1		ほうれん草
海水魚	(境港市)	1	さば		
その他	大浮遊じん	鳥取市松並町	4	0~5cm、5~20cm	
	土壌	岩美郡国府町	2		